

2022年度「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成」 助成団体選考結果のご報告

概要

募集対象	経済的な理由により学習に困難を抱える子どもたちの意欲を高め、学習に取り組む手助けとなる団体の活動
募集期間	2021年11月24日～2022年1月7日
助成金総額	2,000万円程度
応募数	84件
採択事業数	6件
金額	計 21,313,910円（初年度）
活動期間	2022年4月1日～2025年3月31日（最大3年間）
助成選考委員会	本テーマに関して専門的知見を持つ3名の助成選考委員（当財団理事1名と外部有識者2名）で組織する助成選考委員会にて、当財団の助成目的に基づき、厳正な審査を行った。

選考委員長より

本助成は、経済的な理由により学習環境に困難を抱える子どもたちの意欲を高め、子どもたちの学習を支援する取り組みを対象としたものです。

応募件数84件のうち、厳格な審査の上、複数年の計画で成果が見込まれる6団体を採択しました。コロナ禍において、本助成事業の主旨を周知する試みとしてオンライン説明会を実施し、40団体の参加がありました。

応募のあった事業内容は、今年度も事業の多様性を感じました。困難を抱える子どもに向き合う中で、課題に気づき、解決策を模索し、活動を広げられた結果と捉えています。その中で、事業にモデル性があり、複数年の事業プランが明確で実現が見込まれる団体が助成対象となりました。また、学び支援の空白地域での活動も評価しました。各団体で評価された点は、後の一覧にて述べています。

今回採択に至らなかった申請については、概ね、以下のような傾向が見られました。

- ① 地域の課題把握に具体性がなく、その課題解決の手法や計画が適切なものか判断しかねた。
- ② 事業を試行した経験を欠くなど、実行可能性に疑問が残る。
- ③ 複数年をかけて事業を段階的に展開させるというよりは、単年度の計画のように見受けられた。
- ④ 解決したい課題と解決方法（実行項目、費用、スケジュール）の一貫性が読み取れなかった。
- ⑤ 助成期間の終了後、事業の持続可能性に疑問が残った。
- ⑥ モデル性に乏しく、他団体や領域全体への波及効果が感じられなかった。

どの申請も、各地域において子どもを支え、課題解決に向けた取り組みと感じられましたが、①～⑥の点については、次回の申請時のご参考にしていただければと思います。

今回の採択団体も地域の関係各所や同じ領域の他団体と連携して、ネットワークを構築しながら課題を解決することを目指しています。当財団でも、助成を行うだけでなく、団体同士の交流会の開催や成果の発信などを通じて、情報共有・学びあい・連携が促進するよう努めてまいります。

助成団体及び事業内容

団体名	事業名	テーマ	初年度 助成額	拠点	選考にあたっての評価点
特定非営利 活動法人 eboard	外国人散在地域での支援をサポートする「外国につながる子を対象とした日本語ICT教材」の検証・開発事業	①プロジェクトチームの分野理解の向上 ②デモ教材の開発と複数の教育現場における検証 ③教材カリキュラム・開発仕様の策定	¥4,560,000	兵庫県	現在団体が無償提供しているICT教材が多くの学習支援活動や公教育のインフラになっている実績と、施策の計画が具体的に準備が充分と感じられ、実現性が高いことを評価。
特定非営利 活動法人 いるか	子ども達への包括的な支援活動を持続させるためのファンドレイジング推進及び基盤強化事業	①Ask!!マナビバ事業の人的補強と、運営体制の見直し ②マンスリー会員制度設計、潜在寄付者等とのコミュニケーションツールの整備	¥4,748,050	福岡県	事業基盤を整え、学習の機会格差の面において不利な条件にある離島や山間部地域への支援のモデルケースとなることを期待したい。
特定非営利 活動法人 COCONI	経済的困難等を抱える中学生のための学校を中心とした支援ネットワークモデルの開発	①困難を抱えている中学生の状況調査 ②摂津市行政内の子ども支援各課と教員の情報と目的共有のための場づくり ③モデル中学校区でPTAや地域と連携した生きる力を育むプログラムの試行	¥3,875,000	大阪府	行政内部の連携づくりは画期的であり、経済困窮・不登校の子どもに対する調査も含め、実現に期待したい。
一般社団法人 みらいTALK	子どもの生活・学習支援事業 Juice Class+プラス	①浜松市中区にて3か所の学習支援拠点の開発 ②少額の寄付支援制度の創設 ③高校生年代子どもの学校生活継続に関する相談支援	¥2,976,200	静岡県	困窮家庭の状況と課題が具体的にとらえられており、複数の専門職による協働を通して、一人ひとりの子どものニーズに合った支援が構築されることを期待したい。
特定非営利 活動法人 mia forza	こどもの居場所・みあちゃん家：宮城県内のひとり親世帯のこどもたちを対象とした夕食付無料学習支援事業	①こどもたち一人ひとりが安心できる関係・環境づくり ②こどもたち一人ひとりに応じた学習支援の在り方の確立 ③担い手となる人材の募集と育成のしくみづくり	¥2,858,230	宮城県	課税対象の低所得ひとり親世帯を対象に、支援が必要な当事者を把握できている。計画が堅実で、企画力と支援力の高さがうかがえることを評価。
特定非営利 活動法人 ゆめみ〜る	ワクワクたのしい勉強会	①勉強会の指導要綱、指導・教室運用マニュアルの作成 ②食堂での勉強会開催、実施要綱検証・改訂 ③教室見学誘致、2023年度開催拠点獲得	¥2,296,430	北海道	支援が手薄な地域での無料学習支援で、計画の具体性を評価。行政委託の実現に向けた取り組みも期待したい。

【団体名】

特定非営利活動法人 eboard

【URL】

<https://info.eboard.jp/>

【申請事業名】

外国人散在地域での支援をサポートする「外国につながる子を対象とした日本語ICT教材」の
検証・開発事業

【メッセージ】**◇団体の紹介**

「学びをあきらめない社会の実現」をミッションに、経済的困窮や地理的格差、不登校などの課題により、学習機会を損なわれている子ども達に対して、ICT教材eboardを開発・提供しています。これからの社会に欠かせない「インターネット上の学びのセーフティネット」になるべく、教材は、ご家庭だけでなく、公立学校や学習支援団体、子ども食堂などの非営利活動においても無償で利用することができ、活動を通じて、すべての子ども達の学習機会の保障を目指しています。

◇助成を受ける事業

外国につながる子どものうち、日本語指導が必要な児童・生徒は、外国籍・日本籍を合わせると5万人以上で、2018年までの6年間で約1.5倍に増加しています。人数の増加とともに、地域での偏在も進んでおり、地方部では対象となる子が少なく、また財源の不足等から、日本語指導を専門とする人材の確保が難しい状態になっています。この課題に対して、ICT教材と人的支援を組み合わせることで、外国人散在地域でも日本語指導が可能になる、指導の質をあげることを事業の目的としています。

1年目はデモ教材を試作しながら、教材開発のポイントを検討し、カリキュラムや開発仕様を策定していきます。2年目からは本格的に教材開発を進め、3年目から普及展開のための活動を行います。

◇ポイントと抱負

外国人散在地域の現状を踏まえ、教材の利用者は、学校教員を含む「子ども指導・支援に携わってきたものの、日本語指導の専門性・経験を持っていない人」を想定しています。1人1台の環境で学べるようになった現在、制作した日本語ICT教材に、学校端末からスムーズにアクセスできることが、教材の普及展開にあたって大きな要点になると考えています。ICT教材と人的支援のバランスが取れたカリキュラムを開発することで、子ども達にも、支援者にも学びやすい教材となるよう、事業を進めていきます。

【団体名】

特定非営利活動法人 いるか

【URL】

<http://npo-irukanet.com/>

【申請事業名】

子ども達への包括的な支援活動を持続させるためのファンドレイジング推進及び基盤強化事業

【メッセージ】

◇団体の紹介

福岡県福岡市西区を拠点に、福岡県及び近郊エリアの県域にて子どもに関する支援事業、介護福祉サービス事業等を展開しています。子どもに関する事業では、貧困の連鎖解消を主目的とした無料学習支援プログラム「マナビバ」、SNSを活用した「Ask!!マナビバ」、子ども食堂の運営や他の食堂の運営支援、子育てのサポートが必要なご家庭に向けて生活支援などを行うアウトリーチ事業等を展開しています。

◇助成を受ける事業

本助成金では、SNSを活用した学習支援プログラム「Ask!!マナビバ」について取り組みます。弊法人が実施している「マナビバ」は、週1回、子どもが教室にやってきて講師と1対1で学習支援を行うプログラム（オンライン形式も実施）ですが、Ask!!マナビバは、子どもが1人で勉強している時にいつでも気になった問題について質問、解説を受ける事ができるプログラムです。コロナ禍で休校が相次ぎ、気軽に先生に質問することができない状況に対応していくために開始したプログラムです。

この支援プログラムは、弊法人の運営に参画している大学生ボランティア達の企画主導で運営が進んできました。その一方、現在利用登録者が約2100名まで伸びている状況にあり、業務の整理と効率化、バックオフィスの整理・拡充が課題となっています。本助成金を活用させていただき、これらの組織基盤整備に取り組みます。また、この取り組みを通じて、離島・山間部地域の学習支援があまり存在していない地域において本事業の導入を行います。加えて、学習支援事業を資金面でも安定させるために会員制度の再設計や寄付募集にも取り組みます。

◇ポイントと抱負

大学生を中心に運営してきたAsk!!マナビバについて、今後も安定的な運用体制を構築するためには一定の人員補強、予算面での手当てが必要と考えています。運営・講師ボランティアが育んできたしなやかな運営の文化を損なわずに、子ども達への支援を安定的に行える体制にシフトしていくことを目指します。また、これまで子ども達への支援活動の拡大に比べると、十分に組み立てていない寄付会員の募集についても、コミュニケーションツールを整備し支援して下さる方を増やしていきたいと考えています。

【団体名】

特定非営利活動法人 COCONI

【URL】

<https://coconi.or.jp>

【申請事業名】

経済的困難等を抱える中学生のための学校を中心とした支援ネットワークモデルの開発

【メッセージ】**◇団体の紹介**

「すべての子どもたちが一歩先への希望をもてる社会」をめざし、教育者・有識者・支援者が集いNPO法人を立ち上げました。学校や地域などのフィールドで子ども支援に思いを寄せる身近な大人がつながり、協働し、伴走することにより、子どもたちの生き方の選択肢を広げることめざし、不登校支援、学習支援、こどもの居場所の設置、学校でのキャリア教育プログラムの提供などを行っています。

◇助成を受ける事業

厳しい状況に置かれている子どもたちにとって、公教育の場は学びの場であるだけでなく、セーフティネットにもなりうる場です。しかしながら、多忙な教員がすべての役割を担うことは困難です。行政、学校、NPOなど、子どもたちに関わる様々な立場の大人がつながることで、すべての子どもたちが明日への希望を持てる環境づくりをめざして取り組みます。

具体的には、初年度は子どもたちが置かれている現状について調査活動および情報の集約を行ない、子ども支援に関わる行政機関、学校、教員間での情報の共有、課題整理を行ないます。その上で、中学校区1校をモデル地域として子ども支援対策の実行、支援ネットワークの構築を行います。2年目には他中学校区に広げ、3年目には持続可能なモデルとして地域社会の仕組みとして残せるよう取り組みます。

◇ポイントと抱負

学校教育では、授業改善に加え、プログラミング教育、外国語教育、道徳教育、キャリア教育など、教えるべき内容が増えています。一方では、不登校状況にある子どもや、経済的困窮家庭・ヤングケアラーなど厳しい生活課題を背負う子どもたちに対する、教育と福祉の両面からのサポートも重要になっています。

子ども一人ひとりにあわせたケアが必要な時代において、教育と福祉の課題を学校だけが抱えるのではなく、地域社会とのつながりの中で子どもを支える仕組みづくりと制度的な整備が必要だと考えます。

本プロジェクトでは、地方行政や学校とNPO法人などの民間とが、単なる委託・受注ではなく協働関係で進める支援のあり方を構築し、すべての子どもたちが明日への希望を持てる社会をめざし取り組んで参ります。

【団体名】

一般社団法人みらいTALK

【URL】

<http://www.miraitalk.net>

【申請事業名】

子どもの生活・学習支援事業Juice Class + プラス

【メッセージ】

◇団体の紹介

すべての子どもにとってより良い未来、地域社会を築くことを目的として、子どもに関わる多職種（医師・保健師・臨床心理士・保育士・弁護士・ソーシャルワーカーなど）が集まり、子どもと家族、そしてそこに関わる人々を“つなげる”“ささえる”“しらべる”“ひろげる”事業を展開。

現状では

- ・ 様々な障がいがある子どもたちへの防災サバイバルキャンプ（近年は防災ワークショップ）
- ・ 生活困窮家庭やヤングケアラー予備軍の子どもたちへの学習支援や生活支援・相談支援などを中心に事業展開しています。

◇助成を受ける事業

・ 小中学生の課題への対応

生活困窮家庭の小中学生を対象に学習支援を続けてきた中でみつかった課題（不登校・要保護児童・発達障がい・愛着障がい・保護者の障がいなど）に対応するために専門的な知識・技術の向上を図ると同時にコロナ禍、利用希望児の増加により会場を増設

・ 学習支援終了後、高校生年代への支援の充実

高校への進学を果たせたとしても入学後もかなりお金がかかる現実がある。また、困窮に端を発したいじめなど高校生活を維持するにも課題が大きく中退者も多い。そうした高校生世代への支援や資源は少なく、学習に対する支援・相談支援と同時に奨学金制度の創設についても研究していきたい。

・ 支援の網からこぼれ落ちている子どもへの支援

現在の生活困窮家庭への支援施策では、家庭に収入があると実際は困っていても経済的な支援をうけることが難しい（例えば保護者に収入はあっても借金がある場合や虐待ケースの一部など）また、奨学金でも無利子のものは成績優秀であることが条件の場合が多いなど制度が使えないケースが多数存在する

こうした子どもたちが絶望することがないように丁寧に支援していく必要がある

◇ポイントと抱負

- ・ 子どもたちの育ちにとって家庭環境が大きく影響しているのは言うまでもない。子どもたちの問題とされる行動（非行・不登校・学校での暴力等）や虐待の裏に生活困窮が絡んでいるケース、併せて保護者の疾患などが存在しているケースなど様々な要因があり、それは一時的で単純な支援では支えきれない場合が多く、様々な支援や資源をオーダーメイドで組み立てていくことが求められる。
- ・ 私たちは学習支援という切り口から様々な子どもたちの持つ課題を丁寧に支援する中で地域に埋もれている資源も掘り起こし、子どもたちの健やかな育ちを多くの力で支えたいと考えている。

【団体名】

特定非営利活動法人 mia forza

【URL】

<https://www.facebook.com/miaforza.sendai/>

【申請事業名】

こどもの居場所・みあちゃん家：宮城県内のひとり親世帯のこどもたちを対象とした夕食付無料学習支援事業

【メッセージ】**◇団体の紹介**

宮城県仙台市で、困難な状況にある女性やこどもたちを支え・応援することを通して、地域や社会において女性やこどもたちが直面している課題を解決するとともに、誰もが安心して一人ひとりのしあわせを追い求め・実現できる社会づくりに貢献することを目指しています。

◇助成を受ける事業

ひとり親世帯のこどもたちを対象に、仙台駅前で夕食付無料学習支援を開催します。学習支援の場では勉強をするだけでなく、農業生産者や医療従事者など多様な仕事をする大人からその仕事を紹介してもらい場面を設け、将来の職業選択への理解や働くことへの希望などを抱くきっかけづくりを行います。また、長期の休みには宮城県内各地へ出かけ、野外体験や創作体験を実施。学力だけでなく、身体や感性を育てる機会も積極的に設けていきます。また、本事業を通して、こどもたちを応援する担い手育成も進めて参ります。

重点実行項目①こどもたち一人ひとりが安心できる関係・環境づくり

重点実行項目②こどもたち一人ひとりに応じた学習支援の在り方の確立

重点実行項目③担い手となる人材の募集と育成のしくみづくり

◇ポイントと抱負

地域の様々な団体・組織と連携をしながら、ひとりでも多くの方にこどもたちに関わっていただきたいと考えています。また、当法人の各事業を通して、こどもたちの育つ家庭への応援も進めて参ります。

【団体名】

特定非営利活動法人 ゆめみ～る

【URL】

<https://yumemeal.net/>

【申請事業名】

ワクワクたのしい勉強会

【メッセージ】**◇団体の紹介**

2008年に地域住民の居場所作りを目的に立ち上げたNPOです。居場所拠点として地域食堂を開設し、その収益を居場所作り活動等の原資として取り組んで参りました。

2021年からは子ども支援を目的としたフードバンク事業を開始し、子ども食堂や学習支援事業に注力しています。

◇助成を受ける事業

学習支援の手薄な北海道登別市において学習意欲が希薄な困窮世帯等の子どもに学習機会を提供します。

子ども食堂を拠点とした学習支援事業を実施し、講師に加え高校生・学生ボランティアが子ども1人ひとりに子どもに寄り添い支える学習会にします。

今年度はこの学習会を他の子ども食堂への展開、導入を可能とするロールモデルを構築し、次年度以降は「ワクワクたのしい勉強会」を複数の子ども食堂に展開します。

◇ポイントと抱負

- 子ども食堂を拠点とすることで子どもに様々な社会体験と居場所を提供できる場所作りを実践したい。
- 自習に慣れていない状況が散見される生活困窮世帯の子どもにマンツーマンでボランティアさんが寄り添うことで集中力の維持と達成感の共有体験、成功体験を提供する学習会体制（ロールモデル）を構築する。
- 「学習講師と生徒の1対多形式の勉強会進行」と「生徒のボランティアの1対1形式」を子どもの学習成果・成功体験の達成に向けてバランス良く運用するための知見集積とマニュアル化に取り組む。
- 近隣の子ども食堂や行政機関（教育委員会など）への周知、見学誘致を行い本活動の理解醸成と多彩な連携（協働）のきっかけを模索する。
- 「学び方」、「考え方」、「頑張り方」がよく解らない子ども達に勉強会の取り組みを寄り添いながら体感・獲得してもらい、継続して参加してもらえる場所作りを目指す。